

支援プログラム

ミライエの概要

【住所】

〒386-2201

長野県上田市真田町長 7166-8



【利用定員】

10名

【対象となるお子様の年齢について】

・6歳～18歳の就学されているお子様

※ご利用には受給者証が必要になります。

【サービス提供時間】

平日：15:00～18:00

土曜日：9:30～16:00

長期休暇：9:30～16:30

※日曜日・祝日は休業日になります


※ご利用時ご自宅送迎も可能です。

お気軽にご相談ください

【お問い合わせ】

ミライエの取り組みなどご質問等がございましたら下記までご連絡ください。

 miraie@karigane.or.jp

 0268-71-7810(事務所直通)

070-2238-0082(主任仕事用)

ミライエの基本理念

『ミライ(未来)』

未来へ繋ぐ活動をします。

お子様が成人された時にとても大きな力となる、「興味」「やりたいこと」「好きな事」が見つけられるように様々な体験の場を提供します。多くの成功体験を得られるよう、個々に合ったプログラムをご用意します。

『イエ(家)』

安心できる居場所であること。

1人ひとりの特性に配慮し、個性が認められ、安全に、そして安心して過ごせる「居場所」作りをします。学校からご自宅へと気持ち良く帰ることができるような過ごし場の場を提供します。

ミライエでの活動を通し、お友だちとのやり取りの中で社会性を養う他、基本的な生活習慣を身に付けられるよう支援します。

**いっしょにやってみよう！
好きなこと。
いっしょにさがしてみよう！
たのしいこと。**

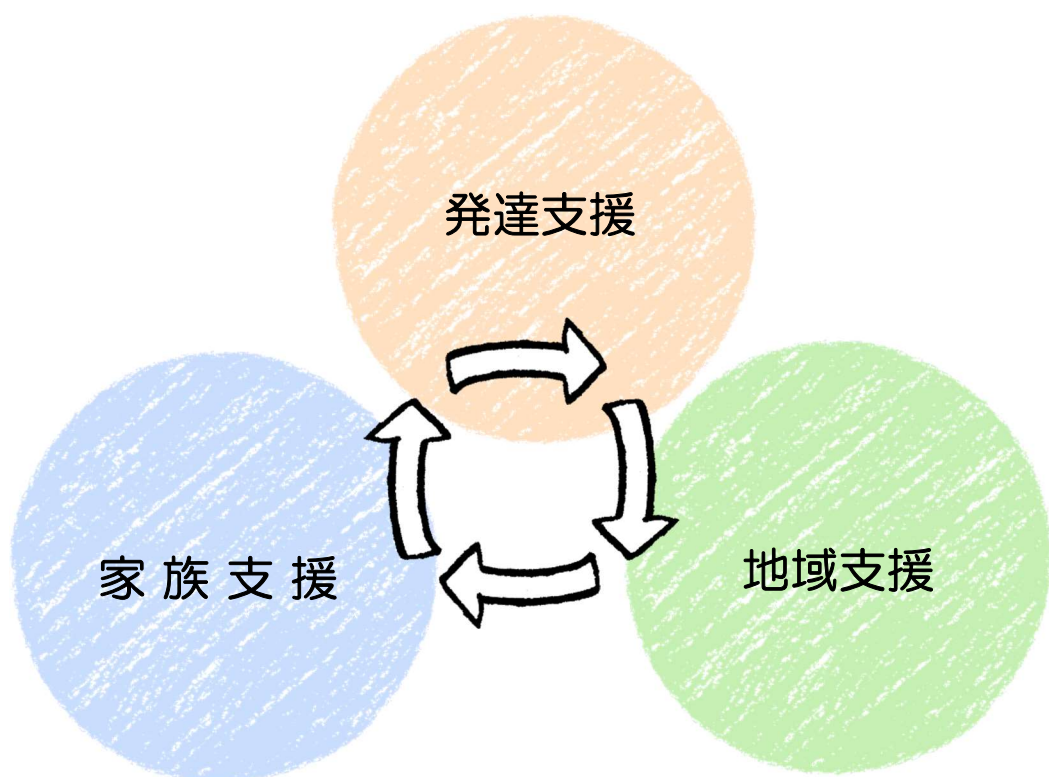
1日のスケジュール

放課後

時間	項目	内容
15:00	送迎	養護学校、学校へのお迎え
15:30	順次来所	手洗い、検温、児童の様子観察。
15:35	宿題	各自学校より用意された宿題を行う。
15:50	始まりの会	あいさつ。今日の活動内容確認。 学校でしてきたことを一人ずつ発表していただきます。
16:00	活動	レク、料理、創作、音楽療法、個別活動等
16:20	おやつ	
	自由時間	
17:00	順次帰宅	

長期休み

時間	項目	内容
～9:30	送迎	自宅へのお迎え
10:00	順次来所 検温	検温、児童の様子観察。
10:10	始まりの会	今日の活動内容確認。
10:15	活動	外出支援、調理、レク、事業所体験、
11:45	食事準備	手洗い、他
12:00	昼食 休憩	
13:00	活動	外出支援、調理、レク、事業所体験、
15:00	おやつ	
	自由時間 順次帰宅	



お子さまにとって「支援」を行う環境は大まかに3つに分類されます。**発達支援（本人支援・移行支援）**、**家族支援**、**地域支援**です。お子様一人ひとりのニーズに対して、児童発達支援管理責任者が作成します個別支援計画に沿って総合的に支援を行います。

★放課後等デイサービスミライエが大切にしていること★(支援方針)

- まずはやってみよう。体験・経験を大切に！
- 学校での支援の振り返り(復習機能)
- 身体の使い方を意識する。
- 5領域アセスメントを活用した、個別支援計画に沿った一人ひとりに寄り添った取り組み
- みんなで支えあう！チーム支援！
- 難しくない、利用者さんもスタッフも楽しい雰囲気です！
- お友達を意識できる環境を提供！
- 季節ごとに合った様々な活動内容を提供！

ミライエでは、お子様一人ひとりの個別支援計画の内容に沿った個別支援プログラム、曜日ごとに固定はせずに計画・実施している5領域の内容に沿った様々な活動を通して、お友達みんなと一緒に、協力して、意識し合って取り組む集団支援プログラムを設定しております。主な、活動内容は以下に記載しております。5つの他にも、余暇時間の中で基本的な生活スキルの定着なども取り組んでおり、お子様たちが“楽しい”と感じて頂ける活動内容を計画・実施していくとともに、保護者様、関係機関との連携を図り、お子様一人ひとりの成長に寄り添って行けるようスモールステップで支援を提供していきます。

創作活動

創作活動を通して、微細運動にもアプローチをかける、作業的な手順を行う中で集中力や想像力が身につくこともねらいです。また、季節を感じるという面で春夏秋冬に沿った創作活動に取り組んでいます。

5領域より→運動・感覚 認知・行動

おやつ作り

季節の食材や行事など季節を感じられるおやつ作りを計画・実施しております。また、感覚(視覚、嗅覚、触覚、味覚、聴覚)へのアプローチ、自分で調理することの楽しさや、食に対する興味をもつ、調理や片づけなど基本的な生活スキルへも働きかけを意識して活動を設けております。

5領域より→健康・生活

ミニゲーム活動

謎解きゲームやお祭りミニゲームなどミライエではミニゲーム活動も多く取り組んでいます。ミニゲーム活動の全体的なねらいとしては、お子様同士、スタッフとの受信・発信コミュニケーションへのアプローチ、自分で考え・行動することに着目して活動設定しています。

5領域より→言語コミュニケーション、人間関係・社会性

運動活動・レクリエーション

館内や近くの福祉センターにて、サーキットなど身体を使って楽しく身体を動かす活動も設けています。運動活動により、身体の使い方、バランス力(粗大運動)を身につけたり、集団で運動することで協力やコミュニケーション、順番を待つなどの社会性を学ぶことができます。

5領域より→運動・感覚

社会体験、外出支援

学校がお休みの土曜日や長期休みには外出支援を設けております。社会資源を使用し、公共のルールや社会性を身につけることや、公園や屋外施設を利用することで、地域の方々(子ども達)との関わりの時間を設けております。地域のイベントへの参加、法人が運営している生活介護事業所への体験やお祭りの参加なども設けていきます。

5 領域より→人間関係・社会性

余暇時間の活用

お子様が成人された時にとても大きな力となる、「興味」「やりたいこと」「好きな事」が見つけられるように余暇時間の過ごしにも着目して支援をしております。また、服を畳む、トイレトレーニングなど生活スキルの定着など保護者様との連携を図りアプローチしていくことも大切にしています。

5 領域より→全ての項目

保護者の皆様へのサポート(家族支援)

年に2回アセスメント実施をさせていただきます。5 領域に沿った項目や保護者様の願いや要望、お困りごと、将来への展望などをお聴かせいただき、それをもとに個別支援計画を作成させていただきます。

個別面談も実施しております。ご家庭でのお困り「こんなことに困っている。」「こんなときどうすればいいの？わからない。」などがありましたら専門的な知識をもったスタッフが面談をさせていただきます。スケジュール表などといったお子さん一人ひとりの特性に配慮した視覚ツールの作成なども行っております。

事業所体験(移行支援)

ミライエの運営母体であるかりがね福祉会には、特色ある3つの生活介護事業所があります。アート活動をしている風の工房、働く生活介護事業所 OIDEYO ハウス(希咲館)、日常訓練や集団での活動に特色があるアトリエ FUU があります。長期休み期間で、各事業所と連携し事業所体験もしております。

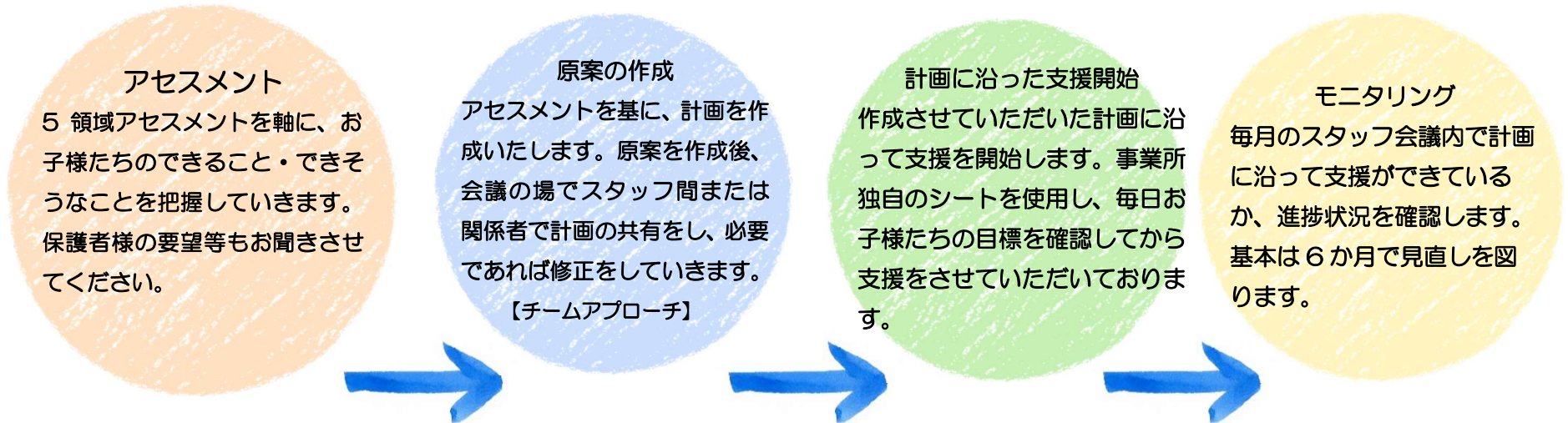
成人のご利用者様やスタッフとの関り、そして、様々な経験や体験を通してお子様たちの「やってみたい!」という意欲へ繋がり、ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備ができるよう計画・実施しています。

チーム支援(地域支援・地域連携)

お子様たちが、将来自立した生活をしていけるよう長期休みを軸に地域社会資源の活用を通して、社会のルールや一般の方々との関わりの時間を設けております。地域の公園に行き、一般のお子様との関りの中で思いやりなどを養う、公共交通の利用や屋外施設など地域資源を活用し社会性などへのサポートも行っています。

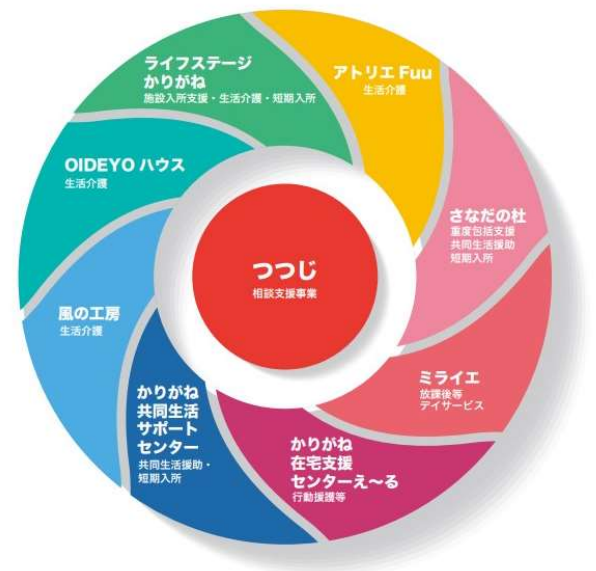
☀️ 個別支援計画(ミライエプラン)に沿った支援

個別支援計画は支援を提供するうえで欠かせません。お子様達や保護者様にとっては、願いや希望をどのように実現してくれるのかというミチシルベになるもので、スタッフにとっては、その願いや希望の実現というゴールに向かって、チームで道を踏み外さないように支援をしていく為の大切なアイテムです。ミライエでは、個別支援計画に沿った支援の提供を基本として、お子様たちが一つひとつステップアップしてけるよう活動提供をしていきます。



☀️ かりがね福祉会について

かりがね福祉会には入所支援の「ライフステージかりがね」を始め、グループホームや通所施設、放課後等デイサービスなど9つの事業所があり、その中でもアート活動や作業に力を入れたり、児童の支援や、行動障がいの方へのマンツーマン対応など、多彩なサービスを提供しています。



かりがね福祉会では、職員一人ひとりのキャリア・レベルに合った外部研修への受講を積極的に取り入れております。

その他に、法人が主催する研修でも、新規職員研修、中堅職員研修などキャリアに応じた研修、専門的な知識や人間性、主体性を磨く法人全体でスキルアップを図っています。

研修例

内部研修：新任職員研修、新任職員フォローアップ研修

一般・中堅職員研修、虐待防止研修、リスクマネジメント研修 等

外部研修：長野県知的障害福祉協会主催研修

長野県相談支援専門員協会主催研修

長野県社会福祉協議会主催研修

作成年月日：2024年7月12日

作成者：和久井翔太(ミライエ主任兼児童発達支援管理責任者)